



富山大学学報

第41号 (昭和38年4月)

目 次

関係法令	1
学内規程	
富山大学文理学部規程の一部改正	1
富山大学工学部規程の一部改正	2
富山大学一般教育課程履修規程の一部改正	2
人事異動	2
学内諸報	
昭和38年度入学式	2
富山大学後援会総会	4
昭和38年度在外研究員	4
英国文化協会トムリン氏講演	4
大学院入学者選抜試験合格者	4
共済組合だより	
文部省共済組合定款の一部改正	4
国家公務員共済組合法の運用方針の一部改正	5
レクリエーション	5
日 誌	6
職員住所	7
改 姓	7

関 係 法 令

政 令

- 第 152 号 予算決算及び会計令の一部を改正する政令 38. 4. 30官報
- 第 153 号 国の債権の管理等に関する法律施行令の一部を改正する政令 38. 4. 30 〃

省 令

- 文部第11号 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 38. 4. 1官報号外
- 〃 第12号 国立大学の評議会に関する暫定措置を定め

る規則の一部を改正する省令

38. 4. 1 〃

- 〃 第13号 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令

38. 4. 1 〃

規 則

- 会計検査院第2号 会計検査院施行規則等の一部を改正する規則 38. 4. 1官報
- 人事院 9— 2 俸給表の適用範囲の一部を改正する規則 38. 4. 10 〃
- 〃 9— 6 俸給の調整額の一部を改正する規則 38. 4. 10 〃
- 〃 9— 8 初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正する規則 38. 4. 10 〃
- 〃 9— 6 俸給の調整額の一部を改正する規則 38. 4. 22 〃
- 〃 9—30 特殊勤務手当の一部を改正する規則 38. 4. 22 〃
- 会計検査院第3号 会計検査院事務総局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則 38. 4. 30 〃

訓 令

- 文部第1号 文部省会計事務取扱規程 38. 4. 30官報

官 庁 報 告

- 日本学士院 日本学士院会員候補者の推薦について 38. 4. 30官報

通 達

- 文部省在外研究員規程の制定について (38. 4. 22文大庶第9号)

学 内 規 程

富山大学文理学部規程の一部改正

富山大学文理学部規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和38年4月26日

富山大学長 横田嘉右衛門

第1条の前の見出しを次のように改める。
(授業科目)

第2条を次のように改める。

第2条 授業科目は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および専門教育科目とする。

第3条第2項, 同条第3項, 第5条第1項, 同条第3項第6条, 第8条および第21条第2項中「外国語」「体育」「専門科目」をそれぞれ「外国語科目」「保健体育科目」

「専門教育科目」に、第10条中「学科目」を「授業科目」に改める。

附則のうち「昭和35年3月15日改正」および「昭和37年1月26日改正」の条文中「専門課程」を「専門教育課程」に改める。

附則の次に次の附則を加える。

附 則（昭和38年4月26日改正）

この規程（改正）は、昭和38年4月26日から実施し、昭和38年4月1日から適用する。

富山大学工学部規程の一部改正

富山大学工学部規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和38年4月26日

富山大学長 横田嘉右衛門

第2条、第3条、第4条、第5条、第7条、第9条、第13条および第14条中「学科目」を「授業科目」に、第3条中「専攻科目」を「専門教育科目」に、第5条中「体育」を「保健体育科目」に改める。

第9条中「体育等」を「保健体育等」に改める。

別表(1)の各学科の表中「学科目」を「授業科目」に改め

る。

別表(2)中「工学専攻科学科課程」を「工学専攻科教育課程」に、同表中「学科目」を「授業科目」に改める。

附則の次に次の附則を加える。

附 則（昭和38年4月26日改正）

この規程（改正）は、昭和38年4月26日から実施し、昭和38年4月1日から適用する。

富山大学一般教育課程履修規程の一部改正

富山大学一般教育課程履修規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和38年4月26日

富山大学長 横田嘉右衛門

第2条第1項中「学科目」を「授業科目」に、「外国語」を「外国語科目」に、「体育」を「保健体育科目」に改める。

附則の次に次の附則を加える。

附 則（昭和38年4月26日改正）

この規程（改正）は、昭和38年4月26日から実施し、昭和38年4月1日から適用する。

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発 令 日 年 月 日	発 令 庁
文 部 教 官 講 師 (薬 学 部)	岩 城 利 一 郎	助教授に昇任させる	38. 4. 1	文 部 省
	井 上 正 美	助手（薬学部）に採用する	〃	富 山 大 学
	福 田 昌 子	教務員（薬学部）に採用する	〃	〃
	星 野 重 孝	〃	〃	〃
	西 条 文 子	〃	〃	〃
	深 井 和 美	技能員（薬学部）に採用する	〃	〃
	西 村 昭 治	技能員（工学部自動車運転手）に採用する	38. 5. 1	〃
	山 口 紀 明	技能員（工学部）に採用する	〃	〃

学 内 諸 報

昭 和 38 年 度 入 学 式

ことしの入学式は、4月10日経営短期大学部も併せて行

なわれた。入学者総数は830名で、大学は731名経営短大は99名である。内訳は次記のとおりである。へき頭、学長の別掲の告辞があり、これに対して薬学部の長谷川貞子、経営短大の谷岡雄一の両名が答辞を述べた。

この日全国地鉄の統一争議が午前中行なわれた。大学ではこれに備えて駅と大学の間に特別にバスを仕立て9時半を過ぎるまで数回にわたって参列の学生、父兄を運んだ。

いつも、この日は講堂前庭の桜樹が満開の花をもって装

い、新入生を迎えるのであるが、大雪のため半開で、まだ早春の相貌を呈していた。

入学者学部・学科別内訳

文理学部	文 学 科	50 (1)	} 112
	理 学 科	62	
教育学部	中 等 教 育 科	67	} 147
	初 等 教 育 科	80	
経済学部	経 済 学 科	169	
薬学部	薬 学 科	80 (1)	
工学部	電 気 工 学 科	40 (1)	} 223
	工 業 化 学 科	53 (1)	
	金 属 工 学 科	40	
	機 械 工 学 科	51	
	生 産 機 械 工 学 科	39	
小 計		731	
経営短期大学部	経営科第二部	99 (7)	
合 計		830 (11)	

() 内の数は沖縄留学生および編入学生を示す(外数)

学 長 告 辞

本日ここに昭和38年度入学式をとり行ない、本学第15回生として各学部合計731名の諸君と経営短期大学部第5回生として99名の諸君を新しくお迎えいたしました。いずれも競争率の激しい入学試験の難関を首尾よく突破してこられた粒揃いの諸君でありますので、大学は心から歓迎いたすとともに諸君及び諸君の御父兄に対し、入学のよろこびを申し上げます。

本日をもって諸君とは一心同体いわばお互いに身内の関係が生じた訳でありますから、これらの毎日けわしい学修の道をとものにたどって進むのに最も願わしく、そして必要な事は私共と諸君との理解と協力によって少しでも楽しいものにしてゆく事であります。これらにちなんで本学の大学人になられた記念すべき今日、日頃の考えをお伝えしてこれらの学修に対する諸君の心構えの素材に供したいと思ひます。

古い学校には良き伝統をもつ校風又は学風というものがあります。かかる学風というものは一朝夕になるものでなく多年にわたる努力、苦心の集積であることは申すまでもありません。わが国にも古い伝統を保ち立派な学風を備えている学校も数多くありませんが、西洋の大学には七、八百年もの長い歴史に輝く古い伝統に今もいよいよ榮えているものがあります。それらにくらべると前途いまだしの感が深いものがあります。富山大学はその基盤である旧高専校はそれぞれ特質ある歴史をもっていました。大学として糾合発足以来僅かに15年の経過をたどるのみで卒直に

申して大学として年数的にも確固たる学風ありとは申されずようやくその緒についたばかりの柔軟な段階にあります。学校は永遠の生命をもつものであり今の次元に、富山大学において縁あって諸君と教え、教わるの關係に結ばれた以上、共同の仕事としてこの大学の学風樹立のために大いに役立つことを誓いあいたいと思ひます。その理由は大学には熱心なる先生と勤勉なる学生の自主的な精進によるのみ立派な伝統も学風も培かれ、樹立されるものであるからであります。諸君は少しも早く学校の事に精通して私共と同じように富山大学の大学人になりきられることを望みます。あまりよい言葉ではありませんが、支那に始まる言葉で獅子身中の虫という事があります。ライオンの如き百獣の王も自分の身体の小さい虫の害によってその氣力を失うという事で内より出る禍を戒めております。私共はこれから諸君と共にきびしい中にもお互いに温い血の通いを感じながら、冷い第3者的なマイナスの批判などやるひまがあればこれをプラスの面に生かして学風の樹立の1日も早い事を是非相共に心がけたいと思ひます。

次に話が少し具体化しますが、大学の履修課程は一般教育と専門教育との2本立てで一般教育は全部共通であり専門コースは諸君の自由意志により決められ、志望されて履修される訳であります。一般教育は新制大学の特徴である事は申すまでもなく高度の専門教育履修者が人間にかたよりのない部厚い巾を身につけるためのものであります。修学団体を通して先ず第一に大事な事は、大学生ともなれば教え授けられるだけでなく積極的に自分で刈り取り、そしやくし同化する事であります。小、中、高の学生時代は予習が主眼であるましようが最高の学問研究に取り組むこれらの段階では思索する事、疑問の解決を先ず自分でやってみる事など他力より自力に移りゆくのが大学生の真の姿であります。次に大学では見るもの聞くものすべて新しいものであろうと胸をふくらましておられると思ひますが、大学の教育は決して小、中、高の教育と隔絶したものでなく小、中、高の教育の基盤の上にあるものであり、従って特に一般教育等において、あるものは高校時代のものと同く似たものもありましよう。しかし、同じ内容のものでも高校時代と今、大学生となってからの受けとり方は必ず違ふと思ひます。それは正しく諸君の人間の成長を物語るもので、大層結構なことで斯る時こそ更に思索し疑問を解決する事によって完全に自分のものにできる時であります。新奇に心ひかれる事は当然であります。『温故知新』という事も常に思い返してみる必要がありましよう。

次に経営短大は別として本学入学の諸君は大体県内、県外6対4の割合であります。沖縄を含めて日本全土から進学されていわば全国高校からの派遣選手のようなものがあります。それで自分は郷里の高校では、かなり優秀であったが今周囲の学友を見ると上には上があり、よくできる人もいる上、課業も忙しく追々むずかしさが加わり、折角選

押し志望したコースに対し不安を感じずという事態がキツトあると思います。斯る場合私共の昔の経験からハッキリ言い得る事は、毫も心配はないという事でただ平常心を失うことなく肚を据えてしばらくジツ我慢を必要としましょう。

その中に心配も霧散する事を請けあいます。

大学は現在この土地に文、教及び経済の3学部が所在し明春は薬学部も之に加わり従来の履修上の不便不利が除かれ総合大学としての良さが発揮できる事になります。4年乃至3年同じ場所にて全国各地の学友と接触いたす事になり、これが人間完成の上に非常なプラスとなる外、学業の外に課外のクラブ活動或いは生協などを通して生涯の心の友を発見できる時であります。是非お互いに胸襟を開かれるよう望みます。

次にこれは在学生及び卒業された幾人からの声として大学の先生方ともっと接触したいがあまりその機会に恵まれず不満であるという事です。これは私共の体験からももっともな話と思います。日本の大学は施設や先生の数等の問題で、残念ながらマス・プロのそしりは免かれませんが。しかし学部によってはゼミナル方式やシンポジウム方式等によって極力先生と学生諸君との直接のつながりを考えておられる面もあります。先生方は限られた時間の講義や実習演習等で悉く豊富な学識や経験を傾け尽される訳にはまいりません。諸君に示されるものは先生方のもたれるものの、いわば氷山の一角と思います。さればこそ先生の人間性を通しての教えが諸君にとり何よりの望みと思えます先生に対するエチケットを逸脱する事なく先生の研究室先や生の御宅にお伺いして、教室や実習室以外の先生の生の人格に触れられる事は望ましい事であり、諸先生方もこれに対しあたたかい御理解があるものと確信いたします。

東大の茅総長が先日の卒業式において「生かしてゆこう小さな親切」という事をはなむけとされました。何事も自力でやれる小さな事から始めて大きなものに向うものでそのスタートは小さな温い親切心と思えます。一見冷厳そうに見える先生方も又わき役として孜々としているんな事務に励まれる職員の方々も温い血潮のたぎりなくして教育社会という聖業はおぼつかないのであります。

諸君は、「たたけよ、しからば開かれん」という訓えを思い起し積極的に私共の身近かに寄ってこられる事を最後に望みます。

以上告辞といたします。

富山大学後援会総会

ことしの後援会は、4月10午後1時から文理学部一番教室で開催された。会は、中井精一副会長が議長となって進められ、

昭和37年度大学概況報告

昭和37年度決算報告

昭和38年度予算審議

昭和38年度役員選挙

名誉会長横田学長のあいさつ

などあって3時過散会した。会者約100名であった。

昭和38年度在外研究員

本年度申請の在外研究員のうち、文理学部川瀬義之教授(有機化学)が長期研究員乙種研究員として派遣が決定した。滞在期間は一カ年で、本年9月から12月に出發する予定である。同教授は、パリー大学ラジウム研究所応用医学部でベンゾフラン誘導体を研究する。

英国文化協トムリン氏講演

英国文化協会代表トムリン氏は、4月19日正午過ぎ来学、午後1時半から黒田講堂で一般教育課程履修中の学生約650名を対象に、「教養の意義」と題し講演した。終わって別室で英文英語関係の教官と懇談した。

大学院入学者選抜試験合格者

4月1日から発足した本学大学院の入学志願者に対する選抜試験は、4月23日薬学部で筆記、口答試験により行なわれた。そして、その結果と学部在学中の学業を併せて審査の上、次の14名が合格者と決定、4月26日付をもって入学が認可された。

氏名	出身地	出身学校名	専攻
安立 準	岡山	富山大学薬学部薬学科	薬劑学
荒木 博之	富山	〃	薬品製造学
伊藤 照弥	愛知	静岡大学農学部化学科	薬品分析化学
石塚 仍康	富山	富山大学薬学部薬学科	生物薬品化学
稲垣 照夫	〃	〃 工学部工業化学科	薬品分析化学
小川 清美	〃	〃 文理学部理学科	薬品製造学
岡田 竹史	〃	富山大学薬学部薬学科	薬物学
河村 政雄	〃	〃	薬品分析化学
久保 喜一	〃	〃	薬劑学
熊木 健治	〃	〃	生物薬品化学
黒川 英二	〃	〃 文理学部理学科	薬品分析化学
斉藤直太郎	〃	〃 薬学部薬学科	薬化学
斉藤 晴夫	栃木	〃	薬物学
平井 嗣郎	大分	熊本大学薬学部薬学科	〃

共済組合だより

文部省共済組合定款の一部改正

さきに、文部省共済組合特報により、当組合の短期給付の掛金率の引上げの経緯について、組合員各位に通知した

ところでありますが、文部省共済組合定款が別紙のとおり一部改正されましたのでお知らせします。

別紙 1

昭和38年4月30日文部省共済組合定款の一部が別紙のとおり改正されましたので、お知らせします。

なお、改正の要は、下記のとおりです。

記

- 1. 長期組合員および短期組合員の短期給付（福祉事業を含む。）の掛金率および国等の負担金率をそれぞれ俸給の $\frac{2}{4}1000$ から $\frac{3}{4}1000$ に引き上げたこと。
- 2. 短期給付（福祉事業を含む。）の掛金および負担金の額のうち福祉事業に要する費用にあてることができる金額を1.にともない俸給の $\frac{1}{4}1000$ から $\frac{1}{5}1000$ に引き上げたこと。
- 3. 1.および2.の改正は、昭和38年5月1日から実施すること。

別紙 2

文部省共済組合定款（昭和33年6月30日制定）の一部を次のように改正する。

昭和38年4月30日

文部省共済組合代表者

文部大臣 荒木萬寿夫

第19条第1項表中 $\frac{\frac{24}{1000}}{\frac{24}{1000}}$ を

$\frac{\frac{30}{1000}}{\frac{30}{1000}}$ に改め、同条第2項中

「 $\frac{1}{1000}$ 」を $\frac{1}{1000}$ の「 $\frac{1}{5}$ 」に改める。

附則

この改正規定は、昭和38年5月1日から適用する。

国家公務員共済組合法の運用方針の一部改正

このことについて文部省管理局長から次のとおりの通知がありました。

記

- 1. 被扶養者について、「主として組合員の収入により生計を維持する者」に該当するための要件である所得年額限度額を引き上げたこと。
- 2. 被扶養者の認定の際扶養事実および扶養しなければならない事情を具体的に調査確認することについては、満18歳以上60歳未満の者と、それ以外の者との取扱いを同じくしたこと。
- 3. 所得税法上の扶養控除を受けるべき扶養親族とされている者については、扶養事実および扶養しなければならない具体的事情の調査確認を要しないこととしたこと。（所得税法第8条第2項参照）

別紙

歳計第1070号
昭和38年4月10日

文部省共済組合代表者

文部大臣 殿

大蔵大臣 田中角栄

国家公務員共済組合法の運用方針の一部改正について

国家公務員共済組合法の運用方針（昭和34年歳計第2927号）の一部を下記のとおり改正したから、通知する。

記

共済組合法関係を次のように改正する

第2条関係「第1項第2号」の第2項第3号及び第3項並びに第59条関係「第3項」中「63,000円」を「72,000円」に改める。

第2条関係「第1項第2号」第4項中「満18歳以上60歳未満の者については、」を削り、「学生」の下に「所得税法上の扶養控除を受けるべき扶養親族とされている者」を加える。

附則

この改正は、昭和38年2月28日から適用する。

レクリエーション

全国公務員レクリエーション
共同事業

卓球大会

この大会は、興国人絹パルプの体育館で4月4日行なわれた。団体戦では出場者は10機関12チームで本学からは1チーム出場したが、予選リーグにおいて勝ち進み、決勝戦に臨んで、次の戦績をもって優勝した。

	法務	郵便	大学	勝	順位
法務		4	1	5	次勝
郵便	1		1	2	
大学	4	4		8	優勝
負	5	8	2		

また、このあと行なわれた個人戦では、薬学部の永田正典、北辻栄太郎の両名が出場して、前者は2位、後者は5位となり、何れも賞を獲得した。

囲碁将棋大会

この大会は、4月9日県職員会館で行なわれた。本学からは囲碁団体戦に2チーム（3名組）、将棋個人戦に1名が出場したものの囲碁団体戦では予選リーグの緒戦で何れも敗北、個人戦では藤波君（薬）が僅に1勝したのみで、白

野君（文）は1回戦で敗れ去った。
また、将棋個人戦でも森田君（経）が5位を争って敗れた。

日 誌

本 部

- 4月 1日 経営短期大学部事務部設置
- 8日 給与事務説明会（10日まで経済1番教室）
- 9日 田中事務局長送別会（黒田講堂）
- 10日 昭和38年度入学式
大学後援会総会（文理三番教室）
菅沼新局長着任
- 11日 田中局長離富
- 19日 英国文化協会代表トムリン氏来学，一般教育課程学生を対象として講演（黒田講堂）引き続き英文関係教官と懇談会
- 22日 文部省技術教育課課長補佐五十嵐淳氏（元庶務課長）来学
- 26日 評議会（第1回）
X線間接撮影実施（黒田講堂）
- 27日 授業料減免選考委員会
- 30日 梅原前学長来学

文 理 学 部

- 4月11日 学部オリエンテーション
- 12日 一般教育オリエンテーション
- 13日 前学期授業開始
- 17日 人事教授会
- 19日 イギリス文化協会代表 Tomlin 氏講演 "The Meaning of Culture"及び同氏を囲む懇談会
- 24日 理学科教授会
- 26日 学部補導委員会

教 育 学 部

- 1日 山本新学部長初登学
- 6日 前学期授業開始
附属小，中学校入学式
- 10日 入学式 教務補導合同委員会
附属幼稚園入園式
- 11日 学部オリエンテーション，新入生身体検査
- 17日 教授会
- 30日 職業補導委員会

経 済 学 部

- 4月 2日 人事教授会
- 8日 人事院給与事務説明会（10日まで1番教室）
- 11日 入学者健康診断
学部オリエンテーション
教務委員会
人事教授会
- 12日 授業開始
- 15日 職業補導委員会
- 18日 教授会（第1回）
人事教授会
- 27日 春季レクリエーション
（砺波チユリツブフェアー，金沢ヘルスセンター）
- 30日 職業補導委員会

薬 学 部

- 4月 1日 政令第96号国立大学の大学院におく研究科の名称及び課程を定める政令により，本学に薬学研究科（2年課程）が設置された。
文部省令第11号国立学校設置法施行規則の一部改正により本学部に和漢薬研究施設が設置された。
- 5日 大学院薬学研究科入学願書受付開始（15日まで）
- 6日 昭和12年度，富山薬学専門学校卒業生 } 一行
昭和27年度富山大学薬学部 } 来学
共立薬科大学教授塩谷明雄氏来学
- 7日 日本薬学大会（7日～9日金沢市において）
- 11日 学部オリエンテーション
- 12日 授業開始
- 15日 教授会
- 18日 薬学研究科委員会
- 19日 昭和37年度後期追再試験開始（3年次30日まで）
- 20日 学部補導委員会，新入学生歓迎会（薬友会主催）
- 23日 大学院薬学研究科入学志願者選抜試験
- 25日 薬学研究科委員会
教授会
- 26日 大学院薬学研究科入学試験合格者発表

工 学 部

- 4月11日 オリエンテーション
- 15日 人事教授会
- 24日 教授会
人事教授会

附属図書館

- 4月 1日 清水新館長初登館
- 15日 夜間閲覧開始
- 19日 事務打合会
- 23日 図書館商議會
- 26日 事務職員間接撮影
- 30日 県図書館協議会代議員会

経営短期大学部

- 4月 2日 38年度入学者選抜選考委員会
第1回専任教官会議
38年度入学試験合格者発表
- 6日 飯田憲郷氏送別会（神戸大学へ配置換）
- 10日 入学記念植樹（ヒマラヤ杉）
オリエンテーション
第2回専任教官会議
- 11日 新入学生歓迎祝賀会
授業開始
- 12日 全学生一般健康診断
- 15日 学生レントゲン検査
- 16日 第3回専任教官会議
授業料減免委員会
- 25日 第4回専任教官会議
- 26日 職員，学生レントゲン検査
- 27日 短大，経済学部，合同レクリエーション
（砺波チューリップ観賞，金沢ヘルスセンター
休息）

職員住所

新任者

薬学部

- 助手 井上 正美
- 〃 小笠原 信
- 教務員 福田 昌子
- 〃 星野 重孝
- 〃 西条 文子

工学部

- 技能員 西村 昭治
- 〃 山口 紀明

移 転

事務局

- 事務官 清水 麗子

教育学部

- 附幼教諭 杉谷利枝子

経済学部

- 助 教 授 横山 静棋

薬学部

- 技 官 北辻栄太郎
- 事 務 員 金兵 和子

工学部

- 事 務 員 山口 清一

改 姓

事務局

- 事務官 清水 麗子（旧姓 高見）

教育学部

- 附中教諭 長枝 英子（旧姓 吉田）
- 附幼教諭 杉谷利枝子（旧姓 高田）

昭和38年5月15日

印刷所 昭和印刷株式会社

